

●木津川希少種植生調査管理業務の除草作業 完了 11月20日(水)

管理地 35ヶ所のうち 11月18日までに 30カ所まで除草がすすめられました。20日には残っていた加茂町の渦の樋門 300m²と右岸の最も小さな管理地 27m²と最大の面積 2250m²のカワラサイコ
の生息地が、15:30に完了となると有田さんから電話が入りました。これまで除草作業を中心とな
って推進してこられた森島さん太田さんと多くの皆様本当にご苦労様でした。12月7・8日を
集草運び出しの日と予定していますが、予想以上に早く完了させました。本日の事務局会議で太
田さんから昨年の刈草運び出しの実績(68袋)が報告されました。もうひと頑張りですがよろし
くお願いします。

また生育調査活動でも伊藤様ご夫婦が毎月の生育調査を展開してくださって年内での完了が目前
のところまで進めて頂いています。今年は異常気象の中、暑い時寒い時の皆さんの奮闘ご苦労様
でした。残る作業は報告書作成の事務処理を残すのみです。昨年同様年内に国交省への報告書類
が完成できる見通しです。

農園部会だより

●玉ねぎ苗を植え付けました 11月16日(土)

大釜さんにお世話になった玉ねぎ苗 300本をの里山農園作
業日に大村理事長、森島副理事長、太田、播川理事と金
田、寺村さんの6人で写真のように植え付けました。少し
田んぼに湿り気がありましたのでうまく根ついてくれると
思います。心配していたトラクターの水漏れの修理もで
き、吉村さんによって尾輪も付き、運転が可能になりまし
た。これで作業が順調に行えることになりました。トラクターを元会員
の加藤さんから譲ってもらえるように手を尽くしていただいた有田さん良かったですね。



●久御山町栄自治会からの要請で松かさツリーで自治会祭り支援 11月17日(日)

京都いきものフェス(京都植物園)で
の竹蛇籠と松かさツリー作りから、
久御山町の栄自治会からの出演依頼
に応じて森島副理事長、有田理事、
金田さんが支援に出かけられまし
た。初めての取組でしたが約 30 人の
子供達とご婦人の方々に作成を楽しんでいただきました。一つの作品
を仕上げるのに最低 20 分の時間が必要でした。出来上がるとすごく
満足感が得られてうれしさが満面にあらわされます。この満足感を共
有できる時がとても良いです。自治会の世話役さん達の感想は“想像
以上の成功だった”と喜んでおられました。またお声をかけていただ
く事があれば参加させていただきますと挨拶をしておきました。



●製作講習会の初日に 4本が組み上がりました。合計 8本が完成 11月17日(日)

当日の天気は午後から雨が降るとの予報でしたが、午後雨も一滴も降らず、日向では暑いくら
いの 1 日でした。里山の会は 9 月からこの日の竹蛇籠製作学習会を予定して週刊ニュースなどで
参加を呼び掛けてきました。当日の飛び込み参加も可能でしたので、事前参加申し込み人数は 3



人程度であろうと予想していましたが、集合地には16人もの皆さんが来られており大変驚きました。竹門康弘先生（地元井手町在住）から開会の挨拶をいただき、太田理事長と杉本哲さんを組長にして、2組に分かれて竹蛇籠を組むことになりました。大ベテランの太田さんの組は順調に出来上がっていききました。一方杉本さんの組は初参加の高橋さん親子さん達であった上に杉本さんも指導を受け持つのが初経験だったので戸惑いながら懸命に取り組みました。途中から里山の会の超ベテランの福井波恵さんが膝の痛さをこらえて加わってくださって作り上げる事が出来ました。この日は全体で4本が組み上がり、完成目標12本のうち合計8本が出来上がりました。

12本のうち6本を6mものに長くする作業と4本を製作する作業が24日(日)になりました。今回が里山の会が2つのイベントに分かれての取組でしたので、皆さんには大変ご苦勞をお掛けしました。次回24日(日)には集中して、残りの作業を完成させようと気持ちを引き締めております。17日以上の皆さんのご参加をご期待しています。次の24日(日)の取組が24年度の製作講習会の最後となりますので、万難を排してご参加ください。氏名・住所・参加交通手段を fddb257@yahoo.co.jp まで連絡いただけると有難いです。



●木津川市や精華町-京都南部の皆さんご参加ください

来る12月8日近鉄高の原駅に隣接するイオンモールで「里山・里海つながるフェス」が開催されます。竹蛇籠製作や中聖牛の製作設置でのご指導をお願いしてきた竹門康弘先生が「土砂が動く自然の恵み」と題して基調講演をされます。ぜひご拝聴をいただきますようご案内させていただきました。

里山の会から野村理事が出席して会場の一角で里山の活動を紹介するポスター10枚を掲示し、その内容について詳しく説明と解説を行っていただきます。小学校教師を務めてこられ、現在は京都大学で学んでおられる昆虫大好きな先生です。きっと皆さんの問いかけに真剣にお答えいただけるのではないかと期待しています。



●12月7・8日は同志社大学サッカー部ボランティアの部員25人ずつの参加で木津川希少植物のための集草集作業を実行します。

地域に貢献できるチャンスがあるなら出かけます、と連絡をいただきこれまで2021年には里山農園の除草作業を雨の中実行していただき、2022年には白土山への周遊通路を開拓いただきました。そして2023年には木津川希少植物保全のための刈草の収集を3日間の予定に、1日足して4日間45人の参加で絶滅危惧種保全の作業を35ヶ所の集草作業を実施していただき、高齢化が進む里山の会への若者の応援を受けてすばらしい成果を収めてくださいました。2024年も前年同様に絶滅させられようとしている希少種の保全を目的にして刈草の収集作業をお願いすることにな

っています。予定では昨年の実績から2日間で50人余の皆さんがおいでになるとお聞きしています。里山の会は一度にこれだけの皆さんを受け入れられるだろうかといささか心配の所もありますが、力一杯頑張ろうと思っています。期待してお越しくださるようお願いいたします。

●尾根筋ハイキングコースの年末清掃作業実施 12月1日(日)

京田辺市の最高峰311mらしいです。(2番目 朱智神社305m 3番目 甘南備山211m)ここに里山の会は2005年に尾根筋ハイキングコースを設定しました。その時の高船区からコースの使用を許可するから、年に一度は清掃活動を行うということで、京田辺市の最高峰を含むハイキングコースが設定できたのです。ここには三角地点が3つ含まれていて珍しいとされています。そして東大寺遥拝場に加えて徳川家康の伊賀越え路であったりと名所が沢山含まれています。中でも電柱が一本もない風景が見所です。会誌57号では実施日が12月7日または8日とされていましたが実行日は12月1日に変更になっていますのでご注意ください。

●先日京都新聞社から呼びかけチラシをご覧になって記者が取材に来られました。

市の木として位置付けられているものを利用して子どもたちに松かさツリーを作っていただく取組は面白い工作になるとしてきました。冬になる前にナンキンハゼの実を収集してきましたが、近年高齢化と体力の衰えから難しくなって蓄えていた実が底を尽き、こうした取り組みが出来なくなってきたので、市民の皆さんにご協力をお願いすることにいたしました。可能な範囲で結構です。いづらか集めていただけないものでしょうか。宜しくお願いいたします。

市民の皆さんへのご協力のお願い

京田辺市の木・ナンキンハゼの「実」を 届けてください

NPO 里山の会では結成した1996年から、同志社大学などで松ぼっくりを拾い集めて松かさツリーづくりを子供たちに提供してきました。自然を生かした手作りなので大変人気をえたものとしてイベント(市民祭りなど)では多くの子どもたちに取り組みで頂いてきました。里山の会のオリジナルな取り組みとほこれるものです。

NPO 里山の会では、近頃その松ぼっくりの収集が困難になると同時に、京田辺市の木とされているナンキンハゼの白い「実」の獲得が思うようにできなくなって、苦境に立っております。市民の皆様のご近くにナンキンハゼの実が結実していましたら小枝毎で結構でございますので、里山の会事務所まで提供いただけないでしょうか。少し乾燥させて実を取り外して活用させていただきます。

ご協力頂ければ大変ありがたいです。よろしくお願ひいたします。

収集できるのは高揚して少し経過した頃(11月中旬)がこれまで適当でした。頃合いを見て採取ください。



かさツリー 完成品

ナンキンハゼの木



ナンキンハゼの木

ナンキンハゼの実

住所 京田辺市田辺深田15 0774-64-4183 (f 兼)

府道八幡〜木津線 馬坂川の天井川 南方20m エネオスの北隣

提供者の氏名住所電話を記入ください NPO やましろの会 事務所 のぼり

受取期間 ご持参いただくと大助かりです、11月20日〜11月31日

自然を大切にする仲間の輪を大きくする

募集依頼 特定非営利活動法人 やましろ里山の会

●アライグマの学習会を京田辺市立中央公民館にて開催 12月12日(木)

近頃農業においてアライグマの被害が大きくなって問題になっています。里山の会はヤマトサンショウウオの保全維持に懸命ですが、6月から7月に3匹捕獲した後、8月6日に無人カメラで昼間に6匹が撮影されました。これではなかなか大変と判断してこのような学習会を取り組みます。お悩みの皆さん、無料で開催致しますのでどうぞ気軽にご参加ください。

10:00 普賢寺小学校前集合

午前中は檻の仕掛け地の視察見学

午後1時30分から学識者からのお話

14:30 先生や参加者で話し合い

予定は変更する場合がありますのでお問い合わせください(TEL. 0774-64-4183)

●「冬の昆虫観察会」を里山農園で桜谷保之先生の指導をお願いして開催 12月14日 10:00~12:00

主催 NPO やましろ里山の会

狙いは国蝶＝オオムラサキの幼虫発見を目指すとして、昆虫が越冬しているところなどを観察できればとしています。寒さ対策をしっかりとって気楽にご参加ください。小学生の参加は保護者同伴でお願いいたします。

●第5回イタセンパラの復元を目指す会を開催 12月14日(土) 13:30

北部住民センター(京田辺市大住中学北側)で開催します。気楽にご参集ください。

●京都府自然環境課から右のようなポスターが届きました。

2025年2月2日(日)に「竹蛇籠と河川保護」としての現地学習会です。ご都合がつくようでしたらご参加をお願いいたします。



生物多様性保全を現場で学ぶ

若手のための 生物多様性保全研修会

若年層を対象に、府内各地域の生物多様性とその保全活動について学習・体験する研修会を実施します。現場での実践を通して、生物多様性保全について考えてみませんか？

研修費：無料
※集合場所までの交通費は各自負担
※参加費は別途あり(注要要あり)

第1回定員10名(先着順)
第2・3回定員20名(先着順)
※各回別々の申し込みとなります

01	02	03
2024/12/14(土) ～森林保全を知る～ 大原野森林公園 保全活動	2025/2/2(日) ～河川保全を知る①～ 竹蛇籠と河川保全 について学ぶ	2025/2/8(土) ～河川保全を知る②～ 将棋型水制の設置
大原野森林公園で希少植物の保全とその環境づくりを学びます。 時間：9:00～16:00 集合場所：鳥飼駅 協力：大原野森林公園運営管理協会	伝統的河川工法「将棋型竹蛇籠水制」について学びます。 (設置場所見学、解説等) 時間：9:40～13:00 集合場所：JR玉水駅 協力：NPO法人やましろ里山の会、竹門康弘氏	河川保全を知る②で学んだ将棋型水制を実際に伝統的工法の素材、竹蛇籠を用いて新たな河川環境手法を構築する試みを体験します。 時間：9:40～14:00 集合場所：JR玉水駅 協力：NPO法人やましろ里山の会、竹門康弘氏

<お問い合わせ先>
きょうと生物多様性センター
☎ 090-4496-3887
✉ contact@kyotobdc.jp

<お申し込み方法>
contact@kyotobdc.jp まで
【氏名、住所、生年月日、連絡先(電話)、参加希望日】
をご連絡ください。